

- 防災活動 -
Disaster drill

自治会・町内会が独自に考えた方法で実施
北上小学校区「避難所開設訓練」

自治会・町内会が発案

コロナ禍でも、地域で起こりうる災害時に、自分たちで対処できる体制作りを目標に3密の制約下で、多くの人が集まる避難所をどうやって運営していくかに着目して実施しました。

例年は地区の住民への参加を呼び掛けていますが、今回は町内防災委員および組長に限定して行い、コロナ関連の訓練や、各種消毒、ソーシャルディスタンスを意識した避難所づくりを実施しました。

訓練内容

■避難者の受け入れ訓練（体育館）

▼非接触型温度計を用いた、体温測定・問診、避難者カードの交付。手指消毒の呼びかけ。▼入館前に、フェイスマスクや軍手を配布。（感染拡大

防止のため、訓練中は常に軍手の着用を呼びかけ。▼密にならないように、床に目印のテープを付け、距離を空ける。

■訓練開会式

▼十分な距離を取って、着席。体育館の換気。▼危機管理課による新型コロナウイルス対策の説明など。

■距離・間隔を保持して、個室の作成

徳倉第5自治会、徳倉第6町内会、萩町内会の各自治会・町内会にて考えてきた方法で、個室づくりを実施。完成後、それぞれの個室の見学および工夫点等の情報共有をしました。

ここではそれぞれの自治会・町内会が独自に考えた方法を紹介します。

※8～9ページの防災特集も、ぜひご覧ください。

①徳倉第5自治会

体育館にあるバレーボールやバトミントン用の支柱やポールを利用し、自治会で持参したひもをはり、持参したシートをかけて仕切りを作成（写真上）。体育館のパイプイスとマット、持参したベニヤ板を活用し簡易ベッドを作成（写真下）。ひも、シートについても自治会で購入。



【会長のコメント】

コロナウイルス対応と感染防止を行い、プライベート保護のため、個室化とベッドルーム化は必要と判断、体育館の既設備品を活用した方法です。今後は被災しても「3密」を避け、避難所に来ない人への安否の確認・連携について研修したいと考えています。



▲軍手着用呼びかけ



▲ソーシャルディスタンスを意識した開会式



▲避難者受け入れ訓練（受付で検温）

既存イベントの代替や デジタル技術を 活用している 自治会・町内会を紹介!!

【中央町自治会】



新型コロナウイルスの影響に対する高齢者の支援としてお弁当を配りました。

【塚の台町内会】



市の発表した記事やマスク不足の際に購入可能なウェブサイトを町内会のホームページに掲載しました。

【東巻町田町内会】



携帯電話等を使用して緊急のことを話し合える体制が役員間にあるため、メール等ですぐ相談ができました。通常時もメールを活用し、先に会議内容や検討事項を伝えることで、役員会をスムーズに実施しました。

② 徳倉第6町内会



市の「自主防災組織等の防災事業費補助金」(※)を活用して、4部屋の個室を作成できるセットを購入し、組み立て(写真上下)。段ボールを用いたセットもあったが、比べて費用の安価な現在のものを購入。来年、再来年に順次買い足していく予定。

【会長のコメント】

他の自治会・町内会でも購入を検討しているところがあれば、ぜひ参考にしてもらえれば幸いです。

(※) 補助金の詳細については、危機管理課 ☎ 983・2751 へ問合せ

③ 萩町内会



体育館にあるバレーボールやバトミントン用の支柱やポールを利用し、町内会で持参したひもをはり、持参したブルーシートをかけて仕切りを作成(写真上下)。ひも、ブルーシートについても町内会で購入。

【会長のコメント】

今回の訓練を通して、足りていない部分等を見つけたため、この訓練を糧に改善していきたいです。



▲ AED 取扱い訓練



▲ チェックシートの張り出し